

2020 年度
賢明学院中学校
A I 日程

2020. 1. 18 実施

国 語

(45 分)

- 答えはすべて解答用紙に記入すること。
- 字数制限があるすべての設問において、句読点は字数にふくめます。

受 験 番 号

【一】 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。（問題文は、設問の都合上、一部省略・表記を改めたところがあります。）

「魚の定義とは何ですか」

と聞かれることがあります。ごく。カントンに説明すれば、次の三つのポイントが上げられます。それは、

- 1 背骨や背骨に近いものを持っている
 - 2 ひれで泳ぐ
 - 3 えらで呼吸する
- という3点です。

1の「背骨を持っている」とは、脊椎動物であるということです。

私が児童向けの魚の図鑑を制作した時、何人かの方から、

「イカやタコが図鑑に載っていませんね」

と言われました。確かに、イカやタコは海にすみ、泳いで移動します。魚屋さんで買うこともできます。しかし、イカもタコも脊椎や背骨に近いものがないので、魚類ではありません。

A

児童向けの図鑑では、イカやタコは『水の生物』といった書名のものに掲載されています。

しかし、①右の1〜3の定義は、厳密なものではありません。魚類でない生き物でも、あてはまるケースがあります。

B カエルの子供であるオタマジャクシは、前述の1〜3すべてにあてはまっています。両生類は脊椎動物です

し、ひれという点でも尾びれを持っています。呼吸は、オタマジャクシの時はえら呼吸です（カエルになると肺呼吸に変わります）。また、同じく両生類のイモリも、幼生の時は水中でえら呼吸をします。

2の「ひれ」については、「ウナギやウツボにはひれなんてあったかな？」と思われる方がいると思います。魚類の中には、ひれの一部を失った魚も。ソンザイします。腹びれが退化したのがウナギです。C フグにも腹びれを失っているものがあります。

さらに腹びれに加えて、胸びれを失い、尾びれも退化してしまっているのが、ウツボやウミヘビ科（魚類）の仲間です。D

ウツボや魚類のウミヘビ科の魚は、よく見ると背びれもしりびれも残っているのが確認できます。この点が、爬虫類のウミヘビと異なるところです。爬虫類のウミヘビには、もともとひれがないのです。

あらためて魚の定義をすると、

- 1 背骨や背骨に近いものを持っている
- 2 背びれや尾びれ、しりびれなど、少なくともいずれかのひれを使って泳ぐ
- 3 えらで一生涯、呼吸をする

X

という三つになります。このすべてにあてはまるのが魚ということになります。魚を定義できたところで、少々センモンのようになりますが、魚の分類についてカントンにお話ししておきたいと思います。

ある生物を分類し、特定する場合、「住所」のような表記のルールがあります。

住所は、国名、都道府県名、市区町村名、地域の名前、丁目、番地と、だんだん細かく記していきますね。生物は同様に、「綱」、「目」、「科」、「属」、「種」と順番に名前をつけていくのです。Y。グタイ例をあげますと、クロマグロは以下のように分類されます。脊椎動物門、条鰭魚綱、スズキ目、サバ科、マグロ属、クロマグロ。脊椎動物門の意味は、文字通り、脊椎動物であるということ。次の条鰭魚綱は、ひれは主にすじでできていて筋肉が少ない魚のグループという意味。スズキ目は、②その中でもスズキに近い仲間という意味です。このスズキ目は、魚類の中でも繁栄しているグループです。そしてサバ科は、スズキ目の中ではサバに近い仲間であることを示しています。

クロマグロは成魚では3メートルになり、サバ（マサバ）は大きくなっても50センチくらいですから、大きさは異なるのですが、生物学上は同じ仲間になります。そしてマグロ属。これは、マグロの仲間であることを意味していて、この「属」にはクロマグロを含めて8種が属します。そして、クロマグロ。Z

門から綱、目と下がるにしたがって、小さな単位に分類されていきます。そしてどんどん範囲が狭まり、最後は一つの種に特定されることとなります。

（井田齊『魚はすごい』より）

問一 線部aとeのカタカナを漢字に直して答えなさい。

問二 タコ（爬虫類の）ウミヘビ・オタマジャクシ・カエル・イカ以外の魚類ではない生物を本文中から一つぬき出して答えなさい。

問三 線部①「右の1〜3の定義は、厳密なものではありません」とあるが、それはなぜか。本文中の言葉を用いて、二十字以上、二十五字以内で答えなさい。

問四

A

D

に当てはまる適当な言葉を次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(ただし、同じ記号は使えないものとする)

ア しかし イ たとえば ウ また エ なお

問五

線部②「その中」とはどの中のことか。「～の中。」につながるように、本文中から二十五字でぬき出して答えなさい。

問六

次の一文を本文中に補うとすれば、どこが適当か。

X

Z

から一つ選び、記号で答えなさい。

ここで、ようやく一つの種に絞られました。

問七

本文の内容と合っていないものを次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

ア マサバとクロマグロは同じ仲間である。

イ イモリは魚類ともいえる。

ウ 魚類はえらで一生呼吸する。

エ ウナギの多くは養殖されたものである。

オ イカやタコは脊椎動物ではない。

【二】

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

「これ、すいちゃん①のじやない？」

カナちゃんがピンクの下じきを（ I ）させて、休み時間に私の席に来た。

「そうそう、すいちゃんのだよ。下じきがなくなっただって言ってた。どこにあったの？」

「なんと、山下の机の中」

「山下の？なんでだろ」

「瀬川、これ君の？」だって。すいちゃんの名前が書いてあるのに、ばっかみたい」

お気の a ドクだけど、カナちゃんの隣は山下なのだ。

「どうせリエたちでしょ。しょうがないやつら」

カナちゃんはどうでもいいようにそう言って、すいちゃんの机の上に下じきをすつと置いた。

「おい、瀬川。おまえの兄ちゃん、何部？」

西田がわざと 真剣 そうな表情で、カナちゃんに話しかけてきた。

「どっちの兄貴？」

「両方」

「おっかい兄貴は陸上部で、ちい 兄 はサッカー部」

「ふーん、サッカーかあ、おれもサッカーにしようかな」

カナちゃんは、フンという感じに口の端を持ちあげただけで、すぐに私のほうに向き直って別の話をしはじめた。西田が何か

言いたげな表情で、うらめしそうにこちらを見ている。

「カナちゃんは中学生になったら何部に入ろうと思ってるの？」

私の質問に西田はパッと目を輝かせ、また話の b 句に入ってきた。しかたない。※ベストワンをきいてしまったからには、そ

うしないわけにはいかないだろう。

A 「うーん、何かなあ、テニスなんてかっこいいかもね。さえちゃんは？」

B 「まだぜんぜん考えてないや」

C 「さえちゃんのお姉ちゃんは、何部だったの？」

D 「お姉ちゃんは、ブラスバンド」

E 「ブラバンかあ、おれもトランペットとかやってみよう」

F 「西田がトランペット？ c ニアわねー」

カナちゃんはそう言いながらお腹を抱えて笑って、② 西田は「なんでだよお」と言いつつ、とてもうれしそうだった。

本当はバスケットに入ろうと思っていた。ポートボールが好きだったから、ずっとそう決めていた。でも、今はわからない。なんにもわからない。

「③ ああ、それ、見つかったから置いといたよ」

席に戻ってきて、机の上の下じきを d フシギ そうに眺めているすいちゃんに、カナちゃんが言った。すいちゃんは、ちらつ

と西田の顔を見てから「ありがと」と II の鳴くような声で、カナちゃんに言った。

すいちゃんは、西田のことが大好きなのだ。見てればすぐにわかる。西田の好きな子はカナちゃん、すいちゃんの好きな人

は西田。そして私は直人先生。カナちゃんは、そんなもいるわけじゃないでしょ、と前に言っていた。

だれかを好きになるということは痛いことだ。四年生のときに感じた好きという気持ちとは、今はもうぜんぜんちがう。人を

好きになると痛いのだ。痛みを伴って、好きな人を思う。

今では直人先生を想うと悲しくなる。ちよつと前までは、鼓動がどきどきして胸が（ III ）と熱くなって、それは自分にと

って。ココチいい痛みだった。でも今では、悲しくはかないやりきれないような痛みに変わってしまった。

④ 私は、藍色の深い森に迷いこんでしまい、出口が見つからずに途方に暮れている。一匹のアオガエルのような気分だった。

（ 椰月美智子『十二歳』より ）

注

※ベストワン … 以前に西田が「私」に、「おれの好きな女の子ベストスリー」を書いたメモを見せてきたことがあった。

問一 — 線部 a s e のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 (I) (III) に入れるのに最も適当なものを次のア s エの中からそれぞれ一つ選び記号で答えなさい。

ア そわそわ イ ひらひら ウ じわじわ エ ばらばら

問三 — 線部①「の」と同じ用法のものを次のア s エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 来年の春には中学生だ。

ウ 行くの行かないのとまだ迷っている。

イ 雪の降る晩は寒い。
エ 彼は走るのが得意だ。

問四 会話文 A s F について「私」のセリフを全て選び記号で答えなさい。

問五 — 線部②「西田は『なんでだよお』と言いつつ、とてもうれしそうだった。」とあるがその理由を二十五字以内で説明しなさい。

問六 — 線部③「ああ、それ、見つかったから置いといたよ」とあるが、その経緯の説明として正しいものを次のア s エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア すいちゃんがなくした下じきが、なぜか山下の机の中から出てきて、すいちゃんに渡すように山下がカナちゃんに頼んだ。

イ すいちゃんの下じきをリエ達がいじわるをして隠していたが、それに気づいた山下とカナちゃんがとりかえしてくれた。

ウ すいちゃんがなくした下じきをリエ達が見つけて山下の机に隠していたが、山下がそれに気づき、カナちゃんに相談した。

エ すいちゃんのなくなった下じきが山下の机の中から出てきたが、それをカナちゃんのものとは勘違いした山下がカナちゃんに渡した。

問七 — II に入れるのに適当な語句を次のア s エの中から選び記号で答えなさい。

ア 小鳥 イ 蝉 ウ 蚊 エ 蛙

問八 — 線部④「私は、藍色の深い森に s アオガエルのような気分」について後の問いに答えなさい。

1 使われている修辞法を、次のア s エの中から選び記号で答えなさい。

ア 直喩 イ 隠喩 ウ 換喩法 エ 擬態法

2 何に対するどんな気分を表現しているか本文の語句を用いて四十字以内で説明しなさい。

【三】 次の各問いに答えなさい。

問一 — 線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- ① 会社にツトめる。
- ② 司会をツトめる。
- ③ 成長のカテイを観察する。
- ④ カテイの上に立ってものを言う。
- ⑤ このままジタイが進む。
- ⑥ 出場をジタイする。
- ⑦ 成功をオサめる。
- ⑧ 税金をオサめる。
- ⑨ 利益をツイキユウする。
- ⑩ 真理をツイキユウする。

問二 — 線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 初日の出を拝む。
- ② 遺言状を残す。
- ③ 精進料理を食べる。
- ④ 健やかに育つ。
- ⑤ 作者の意図をつかむ。

問三 — に入る適当なことばをひらがなで答え、ことわざを完成させなさい。

- ① の功名
- ② にくぎ
- ③ に水
- ④ 下暗し
- ⑤ をたたいて渡る

問四 — 線部の文中での働きを後のア s ウの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 歌声が美しく響く。
- ② 春にはさくらが咲く。
- ③ 大きな川が流れている。
- ④ 近くに公園がある。
- ⑤ 私だけ遅れて行った。

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語